

農産物直売所 「さん彩」 秋の収穫感謝祭

期日 11/24(日) 9:30~13:00

場所 直売所前広場
雨天決行、悪天中止

イベント内容

豪華景品が当たる お菓子まき

①10:00~ ②11:00~

新米・からいも・商品券などが
当たりますので、奮ってご参加ください。



チャレンジ 新米の獲得ゲーム

当日直売所にて買い物をした
お客さまが対象。
ゲームにチャレンジして新米
をゲット!



だご汁の販売

10:30~

さん彩出荷協議会の加工班による
手作りのだご汁を100円で販売します。
※なくなり次第終了



新米おにぎり振る舞い

炊き立ての新米で作ったおにぎりを
振る舞います。
※なくなり次第終了



※イベント・出店の内容は、予告なく変更する場合があります。

みんなの広場

投稿募集中



皆さんが町民の皆さんに伝えたい情
報や、活躍を掲載します。掲載月の
2カ月前の月の15日までにご連絡
ください。

必ず掲載されるわけではありません。

☎ 総合政策課 企画政策係

☎(232)2112

✉ kouhou@town.kikuyo.lg.jp

菊陽ミント会 水彩画作品展

西部町民センターで開講している透明水彩画教室
の受講生の作品を展示します。透明水彩絵の具を
使ったさまざまな技法や色のつくり方を学び、季節
の風景を描きました。

講師の佐々木三多先生の作品も展示します。皆さ
まのご来場をお待ちしています。

日時 11月21日(木)~12月4日(水)

※キャロップア開館時間内は
いつでもご覧いただけます
(最終日は午後4時まで)。



場所 光の森町民センターキャロップア ロビー

☎ 担当: 岩田 090(9658)0209



人権のひろば

187

人権教育・啓発課 ☎(232)2113



「違いを受け止めるために」

武蔵ヶ丘中学校 1年 丸目 瑛介



相手のこと、自分のことを知り合いなかまへ

人は一人一人みんな違う。全く同じ人間はこの世に存在しない。当然のことではあるが、いざその違いを目の当たりにすると、戸惑ってしまうことがある。私はこの夏に台湾人の男の子と出会った。彼とのやり取りを通して、違いを受け止めることについて考えた。

彼は私の家にホームステイでやってきた。彼は、菊陽町と台湾の宝山郷との交流で訪れたバスケケットボールチームの一員だった。彼と過ごした3日間はとても楽しく、忘れられない思い出となった。だが、困難もあった。言葉が通じないことだ。そこで、相手の気持ちを考えることを意識するようになった。「今〇〇をしたいのかな」「困っていることはないかな」と彼の

表情やジェスチャーを見るようにした。すると、言葉以外の部分にも相手の気持ちが表れることに気づき、彼と少しずつコミュニケーションがとれるようになっていった。住んでいる国や言語、文化はそれぞれ違う。だからこそ相手の思いになって考えることが人と人をつなぐ上で大切なことではないか。それが「思いやり」だと思う。ただ、相手のことを何も知らないなら相手を思いやることは難しい。だから「思いやり」には、まず相手のことを知ることが大切ではないかと思う。私自身も自分のことを知ってもらってよかったという経験がある。それは、中学校に入学して早々にあった「くつ下の穴」という授業だった。

自分の得意なことや伸ばしていきたいこと、みんなに知っておいてほしいことなどを一人ずつ発表するという授業。そこで私は、言葉をスラスラと発せないときがあることをクラスのみ

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 第40回菊陽町人権子ども集会

日時 12月7日(土) 午前9時~11時50分 場所 菊陽中学校体育館

「ともに、差別をなくす一歩を踏み出してみませんか」

菊陽町人権子ども集会実行委員長 菊陽中学校 3年 石田 莉空

皆さんは、差別をなくす一歩とはなんだと思いますか。私は、どんなに、小さなことでも、行動に移すことだと思います。イメージや同情だけでは、差別はなくなりません。行動することに意味があるのではないのでしょうか。

しかし、私は、そう言いながらも、行動することはあまり得意ではありません。行動するより先に、「どうしたらいいのだろう?」と不安になってしまふことがあります。もしかしたら私と同じように、行動したくても1人で悩んでいる人は、多いのではないのでしょうか。「1人だから不安」「自信がないから不安」など、たくさんの方の不安があると思います。しかし、なかまがいると、それは勇気や自信に変わると思います。

菊陽町人権子ども集会は、その「なかま」と「勇気」、そして「自信」にあふれた集会です。きっと参加するだけでも、差別をなくす一歩になると思います。私は、今年の集会を、きれいごとで終わらせない集会にしたいです。この集会を通して、ともに差別をなくす行動を、第一歩を踏み出したいと思います。



第1回実行委員会